

# 平成17年度地区別懇談会

# 朝来市の今後のまちづくり



平成17年10月25日から12月1日まで市内13か所で「朝来市の今後のまちづくり」をテーマに開催された地区別懇談会では、大変多くの皆さんにご参加いただき、貴重なご意見やご質問をいただきました。

この懇談会でみなさんからいただいた主な意見を抜粋し、要点を紹介します。また、その意見や質問に対し、示された市の意向もあわせて紹介します。

なお、ここで紹介した意見以外にも多くの貴重な意見をいただきました。これらの意見は平成18年度に策定する朝来市総合計画の中に反映させていく予定です。

## まちづくり

女性が輝くまちづくりに期待している。

有名な女性市長、女性国会議員、女性ジャーナリスト等に朝来市の発展についてのアイデアを求めているどうか。2、3人を朝来市に迎えてパネルディスカッション等を行ってみては。

女性が地域活動に一生懸命

な地域は元気がある。福祉、健康、教育、環境など全ての面で女性の視点が不可欠。市内の女性のみなさんが市外の女性リーダーと意見交換され、生活者の視点でまちづくりが進めば素晴らしいまちになる。女性100人委員会も多くの方に応募いただいている。多くの女性の意見を施策に反映していける委員会にしたい。積極的に参加頂きたい。

毎年春と秋に花の苗をいただいていたが、それがなくなった。グループで花を植えているが、植える作業は協力してほしいが、お金がかかる。少しでも経費を出していただけないか。

市全域に渡って、まちを美しくする活動を展開いただき、そうしたみなさんへの花の苗の供給などについて工夫をしなければならぬ。国体を前

に農林関係の制度で各地域に花の見られる場所を作る事業も展開している。旧朝来町で行っていた花いっぱい協会に町が支援するという仕組みを考えたい。

生野塾は、これまでは総合計画に基づいてやってきた。新市の指針がはっきり見えるようにして欲しい。

生野塾は一層活発に活動して欲しい。総合計画の地域計画における生野の皆さんの役割は重要。住民が主導的に頑張る地域に知恵が出て、そこに資金を投入する仕組みづくりが必要。日本全体もそのような仕組みになる。

但馬開発推進会議でまちづくりをしているが、朝来市では旧朝来町だけに同友会の組織がある。他の地域でも組織は違うがまちづくりの会が構成されている。それぞれの地域のまちづくりには、朝来市としてどのように取り組まれるのか。

それぞれの独自性を活かす展開ができれば一番良い。それぞれ役割と目的を持った皆さんが、お互いに競争しな

がら地域づくりを進めていく社会が理想的。支援はさせていただく。

地域審議会の設置と自治基本条例の制定を。

地域審議会については分権型社会へのシステム作り、中央から地方に、地方から地域にどう分権していくか、どういう仕組み、どういう組織でまちづくりを進めていくか具体的な議論を開始している。自治基本条例については、分権型社会へのシステム作りの過程の延長線上に自治基本条例がある。自ら努力して自ら地域づくりをしていくことがこれからの地域活動の基本になると思う。これらが一齐に動き始めると思う。

公民館講座は地域にあったものを育ててほしい。負担をしても、よい講座をしてほしいという人はたくさんあると思う。各地域で最低何人集まれば受講できるといった体制が必要ではないか。受講生がどれだけの負担をすればいいのか、講座を開いていただけるのか、検討してほしい。

公民館事業は、これからは